

## 先生・保護者の皆さまへ

2007年度より、杉並区でも特別支援教育が実施されています。これによりこれまでの「心障学級」は「特別支援学級」と改められ、支援の目も広く学校全体に向けられることになりました。

特別支援教育の対象となる子どもたちの多くには、生まれつき「精神的な発達が遅い」という特徴があります。そういった子どもたちは、精神的に未熟なため社会性に欠ける部分があり、「わがまま」「乱暴」「わからずや」「変わった子」と敬遠されてしまうことも少なくありません。しかしそれらの多くは、家庭環境やしつけで後天的に身についたものではなく、持って生まれた彼らの特性なのです。

子どもに限らず、全ての人間は「十人十色」と言われます。長所があれば短所もあります。それらを互いに理解しあい、ともに歩んでいく力を、大人も子どもも身につけていくための第一歩として、『手をつなご』を作成しました。

この『手をつなご』を元に、発達障害のある人との関わり方について、子どもたちと一緒にぜひ話し合ってみてください。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

## 杉並区教育委員会事務局 特別支援教育課

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内2-5-26

TEL 03(3311)1921 FAX 03(3311)0770

URL <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

協力：木の会の会（杉並区立小学校 特別支援学級 親の会）

挿絵：浅野礼子

# 手をつなご

＝ 発達障害のある子どもたち ＝



(高井戸第二小学校 児童作品)

皆さんの身近にある学校には、多様な子どもたちが在籍しています。多くはありませんが、発達障害のある子も元気に通学しています。

発達障害と言っても、重い病気のことではありません。発達障害のある人は、生まれつきものごとの感じ方が他の人たちと少し違ってきます。

そのため、すてきな力を持っていても発揮できなかったり、誤解されてしまうことが多いのです。

でも、周囲の人たちのあたたかい理解と支援があれば、歩み寄り高めあって、ともに元気に生きていくことができます。

お互いの人格を認めあい、より豊かな毎日を過ごすために手を取りあって交流の輪を広げていきましょう。

“発達障害がある”って

## どんな子どもたちのの？

わたしたちは

## 何をしてあげればいいのか？

### ★話の内容がかみ合わないことがあります。

発達障害のある子どもたちは、相手の考えを読み取るのが苦手。また 自分の気持ちもうまく伝えられないため、考えていることを相手にわかってもらえません。自分だけがよく知っていることを一方的にしゃべりだすこともあります。

### ★対応のしかた

短い言葉、絵や写真、文字、実物、身ぶり、などでわかりやすく伝えてみてください。

- ※イライラと感情的にならず、おだやかな声で話しかけるようにしてください。
- どなり声を聞くと おびえてしまって、ますます話が通じなくなることがあります。



### ★こだわりが強く、一見 奇妙なことをしていることがあります。

自分の座席の場所にこだわっていたり、ものの順番や時間、他の人の持ち物や洋服までも気にしていることがあります。

### ★対応のしかた

こだわりは、発達障害のある人にとって安心できる心のよりどころなのです。おかしく見えることでも、あたたかく見守ってあげてください。危ないこと・困ることや、間違っていることを指摘するときは、冷静な態度で接してください。

- ※間違いなどを注意するときは、「だめだよ」「ちがうよ」だけではなく「どうすればいいのか」をハッキリと例をあげて伝えましょう。



### ★なれなれしいこと、乱暴なことをしてしまうことがあります。

一緒に遊びたくて相手の手や体にふれてしまったり、イヤな思いを伝えられなくてぶっついたり、恥ずかしい言葉なのに大きな声で言っついたり。でも、本人たちは 意地悪な気持ちでしているのではありません。相手の不愉快に気がつかないのです。

### ★対応のしかた

不愉快や迷惑につながる行動に対しては、普通の口調でやめるように伝えてください。大声や感情的な考での諭し方は控えましょう。また、「〇〇するのはやめて」のように具体的に指摘するようにしてください。



### ★突発的なこと・危険なことをしてしまうことがあります。

思いつきでいきなり行動することがあるので、危ないことに気がつかないでやっついたり、急にいなくなってしまうこともあります。

### ★対応のしかた

状況をよく見て、冷静に対処しましょう。急な対応や専門知識を要する場合には、速やかに警察や学校に連絡してください。

- ※とっさに大声で呼びかけると、さらに危険な状態になることがあります。本人を驚かさないように十分注意してください。



### ◎他にも気をつけてあげてほしいこと

- 「急な変化」は見通しが立てられなくて不安になります。時間や場所の予定変更などは、前もって教えてあげてください。
- こわい声を聞くとパニック状態になって大騒ぎしてしまう子もいます。落ち着いた口調で話しかけてあげてください。
- よく動く子は、話しかけても耳に入らないことがあるので そつと体にふれて動きを止めてみてください。

子どもたちが対応に困っているときは、信頼できるおとなの助力を仰ぐようアドバイスしてあげましょう。